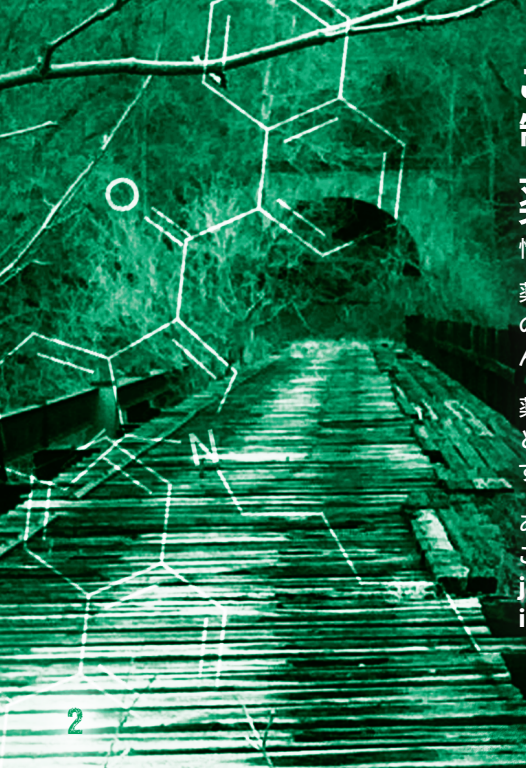

真実を知ってください
危険ドラッグ
K2
スマイル
スパイス
25I
バス・ソルト
Nボム
ブラック・マンバ
サルビア
ブリザード
jp.drugfreeworld.org



## この小冊子が制作された理由

薬物についてのさまざまな情報が氾濫しています。学校や街中、インターネットやテレビで。その中には正しい情報もありますが、そうでないものもあります。

薬物に関して耳にするほとんどのことが、実は売人からのものなのです。かつての売人たち曰く、「買わせるためならどんなでたらめでも言う。」

薬物についての実態と真実を知ればまともな決断を下すことができます。この小冊子は、そのために制作されたものです。あなたのために。

あなたのご意見、ご感想は貴重です。ですから
この小冊子について感じたことをお知らせください。
**jp.DrugFreeWorld.org** にアクセス、または
**info@drugfreeworld.org** までEメールでご連絡ください。

# 危険ドラッグとは？

危険ドラッグは、天然の成分ではなく、人工の化学物質から作られています。

フェンタニル、エクスタシー、LSD、メタンフェタミンなど、多くの危険ドラッグについては、「真実を知ってください：薬物」シリーズの小冊子で説明されています。この冊子では、しばしばデザイナー・ドラッグと呼ばれる危険ドラッグについての事実を紹介します。これには、合成マリファナ（スパイスまたはK2）、合成覚せい剤（バス・ソルト）、Nボムとして知られる合成幻覚剤が含まれます。

## デザイナー・ドラッグ 危険な実験

危険ドラッグとは何か、そしてそれがどのようにして生まれたのかを理解するために、デザイナー・ドラッグとは何かを知ることは重要です。デザイナー・ドラッグとは、違法薬物の分子構造をわずかに変えた合成版で、違法薬物として分類されることを避けるためのものです。本質的には、化学者が新しい薬物を作り出すために行う実験であり、それはオンラインや店頭で合法的に販売できるため、売人は法律を破ることなく利益を得ることができるのです。法執行機関が新しい化学物質を特定し、それを違法と分類すると、製造者は法律の網をかいくぐるために薬物の構造を変えます。このサイクルが繰り返されるのです。




デザイナー・ドラッグの中には、「喫煙用ハーブ・ブレンド」としてオンラインやコンビニで販売されているものもあれば、「ハーブのお香」「植物栄養剤」「バス・ソルト」「ジュエリー・クリーナー」など、「人間の摂取用ではありません」とラベル付けされた製品に偽装されているものもあります。これらの名前は、薬物の本来の目的を隠し、健康と安全に関する規制を逃れるために使われています。

## 謎の成分

新しい化学物質が絶えず開発されているため、デザイナー・ドラッグの使用者は、それらの薬物に何が含まれているのか知るすべがありません。さらに、既知の薬物にわずかな変更を加えるだけで、全く異なる作用を持つ新しい薬物が作られる可能性があるため、使用者はそれが健康にどのような影響を与えるのか予測することができません。

世界中で、違法薬物市場において1,000種類以上の新しい危険ドラッグが発見されています。

これらの中には、完全には特定されていない化学物質が含まれており、それらが人体やマインドに与える影響は、いまだに分かっていません。

# 合成マリファナとは？

ときに、合成マリファナと呼ばれるものは、実際にはマリファナとは全く異なるものです。それは、マリファナに含まれる精神に作用する成分であるTHCを模倣するように作られた、未知の有害な化学物質を吹き付けたハーブやスパイスの混合物です。

スパイスやK2といった危険ドラッグは、しばしば「安全」で「自然」で「合法」にハイな気分になれると偽って宣伝されています。真実は、それらは合法ではなく、決して自然でも安全でもありません。

化学テストによると、これらの薬物に含まれている成分は、危険な毒性作用を持つ合成化学物質です。さらに、スパイスやK2として売られている製品の化学的構成は不明なので、使用者は自分の身体にどんな化学物質を取り入れているのか、またその影響がどのようなものかを全く知りません。ハーブやスパイスは均一にスプレーされないことがあるため、薬物の強さは大きく異なる可能性があります。

合成マリファナは乾燥した葉のように見え、「ハーブのお香」や「ポプリ」とラベル付けされた小さくて光沢のあるプラスチックの袋に入れて売られることがよくあります。また、ベイピング用の液体の形でも売られています。

人々は、巻いたジョイントやパイプ、電子タバコでそれを吸うことがよくあります。一部の使用者は、それをお茶にしたり、ブラウニーのレシピに加えたりします。また、液体の形で摂取したり、鼻から蒸気を吸い込んだりもします。





# 合成マリファナの通称

- アルジェリアン・ブレンド
- アロマ
- ブラック・マンバ
- ブレイズ
- ブリス
- ボンベイ・ブルー
- ボンサイ 18
- カオス
- チル
- ドリーム
- フェイク・ポット
- フェイク・ウィード
- ジニー
- K2
- ラーバ
- モジョ
- ミスター・ハッピー
- ミスター・スマイリー
- ファントム・ウィックトゥ
- レッド・エックス・ダウン
- スクービー・スナック
- センス
- 感覚
- 静穏
- サイレント・ブラック
- スカンク
- スモーク
- スペース・ダイヤモンド
- スパイス
- スパイシー XXX
- スパイク99
- タイ・ファン
- ウィックトゥX
- ユカタン・ファイア
- ゼン

# 統計と事実

- 合成マリファナによる被害と傷害についての調査によれば、この薬物の使用はしばしば死、発作、精神病につながることが分かりました。
- イリノイ州では、合成カンナビノイド* が殺鼠剤と混ぜられ、販売されました。このロットは170人以上に傷害を与え、そのうち5人が死亡しました。
- ニュージーランドでは、合成カンナビノイドのAMB-FUBINACA†に関連する死亡者が、20ヵ月間で58人いました。このうち2件は致命的な自動車事故で、2人は自殺しました。この薬物を使用した後、単に倒れて死亡した人もいます。



合成マリファナの影響下にある人が関与した致命的な自動車事故が数多く記録されています。

- ジョギング中の62歳の男性が、合成マリファナの陽性反応が出た20歳の男性に襲われました。
- 別の20歳の男性が、合成マリファナを吸った後に木に衝突し、死亡しました。
- 合成マリファナを使用したと認めた運転手が運転していたゴミ収集車が、高速道路の分離帯を越えて時速80キロで150メートル走行し、反対車線を走る車の屋根を切断し、その車に乗っていた兄妹を死亡させました。

* カンナビノイド：インド麻（カンナビス）から抽出される、または合成される化学物質で、脳、気分、記憶、痛みに影響を与えるもの

† AMB-FUBINACA：この合成カンナビノイドの完全な化学構造を表す文字の組み合わせ

# 合成マリファナによる短期的な影響



**マインドに与える影響：**

- 無反応
- 意識喪失
- 混乱
- 時間感覚の麻痺
- 異常な不安
- パニック発作
- 深刻な偏執症
- 妄想
- 幻覚
- 精神異常
- 自殺行為の可能性
- 合成マリファナの影響下にある使用者の中には、殺人に関わった人もいる

**身体への影響：**

- 吐き気と嘔吐
- 異常な発汗
- 制御できない、けいれん性の身体の動き
- 深刻な腎臓の損傷
- 速脈
- 高血圧
- 心臓への血液供給の減量
- 心臓発作
- けいれん
- 発作
- 脳卒中



# 合成マリファナによる長期的な影響

人に与える長期的な影響はまだ充分知られていませんが、中毒センターの専門家は、合成マリファナの影響は、生死に関わる可能性があると指摘しています。

それは常習的になり、渇望、悪夢、大量発汗、吐き気、震え、頭痛、異常な倦怠感、不眠症、下痢、嘔吐、明確な思考の問題、他人への興味あるいは義務感の喪失などを含む、離脱症状を引き起こすことがあります。

薬物を繰り返し長期的に使用すると、使用者は健忘症や精神錯乱を引き起こす可能性があります。麻痺症状を経験したという報告もありました。



## 「スパイス」を吸引して、麻痺

「数週間スパイスを使用した後、夜明け前に起きた私は床に倒れ、脚や腰が動きませんでした。私にできたのは腕を使って身体を引きずることだけでした。床に13時間横たわり、叫び、床を叩き、助けを求めました。医者によると、2時間遅れたら死んでいただろうとのことでした。これから病院に長期入院する予定です。」—L.D.

## 地獄そのもの

「K2について私の経験をお話します。それが私の人生を台無しにしました。最初にK2を試した時には、TV画面の砂嵐のように全てが消えていく気がしました。『これは地獄だ』と感じたのを覚えています。感じられるのはひどい恐怖感だけだったのです。家族の声を聞いて、自分が幼い時の最悪の出来事のフラッシュバックを体験したのです。ひどく震え、怯えて気分が悪くなりました。その日以来、いつでもひどい不安感を抱えています。私の不安感はとてもひどくて、学校を辞めなければならないほどでした。」—J.W.

## もう、まともじゃない

「スパイスを過剰摂取してから私は変わってしまいました。それが効き始めるまで、ただ座って吸っていたんです。まともに見たり歩いたりすることができなくなり、6、7回吐きました。私は母親を起こし、母親は私をソファーに寝かせ、救急車を呼びました。救急車が来るまで約10分間、私は発作を起こし始めていました。目覚めた時は、生命維持装置を着けて病院のベッドにいました。数時間、心臓の機能停止*状態が続き、周りの人は自分が目覚めるとは思っていなかったようでした。何とか生き延びたが、もう以前の自分ではありません。話す時は何度も口ごもり、何をしても集中できません。何か話そうとしても、頭が空白になってしまって、何が起こったのかわからなくなってしまいます。いつも目の前に点がちらつき、もはやそこにいないんです。」—D.Y.

## 元依存者

「私はスパイスの依存者です。保護観察期間中に麻薬中毒になったんです。使用量が一日に1グラムから3グラム、4グラムへと増えたんです。依存が進行すると、自分の基本的な行動や運動技能をコントロールする能力が低下しました。動揺した時にはさらに攻撃的になり、使用量が増し、長くなるにつれて、攻撃的になる頻度が増えました。ある朝、常軌を逸してしまった私は精神異常になり、妻を殺してしまうところでした。逮捕され、執行猶予は取り消されました。釈放されてから、他の人たちがこの薬物を使用しないように自分の経験を話しています。」—S.W.

* 心臓の機能停止：突然の、時には一時的な心臓の停止。

# 暴力的で非理性的な行動

スパイスの影響下にあった21歳の母親が、4歳の子どもをゴミ箱に投げ入れました。警察が彼女を逮捕した時、彼女は息子がどこにいるのか思い出せませんでした。警察によって後にゴミ箱から救出された子どもは児童保護サービスに引き渡されました。その女性は育児放棄で起訴されました。

米国に、十代の少年がふたりの学校職員を銃で撃ち、1人を殺害した後、自ら命を絶ちました。医学的検査で、彼の体内からK2が検出されました。

21歳の男性が、K2を初めて使用した際に自らの喉を切りました。幸いにも、彼の母親は救急隊員が到着するまで出血を抑えることができました。



# 合成マリファナ：簡略史




合成マリファナは、「スパイス」などとして売られており、2004年にヨーロッパで、2008年に米国で初めて登場しました。しかし、合成マリファナを作るために使われる化学物質は、何十年も前に実験目的で作られたものです。それらには以下が含まれます：

- CP 47,497。ファイザー製薬のチャールズ・ファイザーにちなんで名付けられたもので、1980年代に科学研究のために開発されました。
- HU-210は、エルサレムのヘブライ大学にちなんで名付けられたもので、1988年にそこで初めて開発されました。それは自然のTHC（マリファナに含まれている精神状態を変える成分）よりも100倍から800倍強力なものです。
- JWH-018と他のJWHシリーズは、南カリフォルニア州のクレムゾン大学のジョン・W.ホフマン教授にちなんで名付けられ、1995年に製造されました。

2010年に米国麻薬取締局は、これらの化学物質を規制するために非常手段を行使し、2012年にはスパイスに含まれる物質を禁止する法律が可決されました。

地下組織の化学者が、マリファナの効果を模倣し、他の禁止物質に取って代わる新しい実験薬、UR-144とXLR11を開発しました。2013年にUR-144とXLR11は違法になりましたが、その時点で新世代の合成マリファナがすでに登場していました。要は、これらの薬物が違法かどうかではないのです。研究によると、これらは毒性があり安全ではありません。

これまで製造されてきた、何百以上の異なる種類の合成マリファナが存在しているのです。化学物質の内容が常に変わっているため、売人はこれらの薬物がどのような影響を身体に与えるのか全くわかっていないのです。

# バス・ソルトとは？

「バス・ソルト」として売られている化学物質は、浴槽で使うバス・ソルトではなく、予測不可能な作用を持つ有毒な薬物です。

これらの薬物に含まれる多くの物質は、その有害な作用のために、米国では禁止されています。売人は、法律を逃れるために、バス・ソルトや他の名前を使います。これらの薬物は、法執行機関による逮捕を逃れるために、「植物栄養剤」「ジュエリー・クリーナー」「携帯電話画面クリーナー」などと偽って宣伝され、「人間の摂取用ではありません」と表示されています。

バス・ソルトという用語は、1つの薬物を指すのではなく、似たような物質のグループを指します。これらは、東アフリカやアラビア南部に生息する常緑低木のカートという植物に含まれる薬物の一種を化学的に作ったものです。スパイスやK2が合成マリファナとして知られているように、バス・ソルトは合成覚せい剤と呼ばれています。また、LSDによって引き起こされるのと似た幻覚を引き起こすこともあります。




バス・ソルトにはさまざまな化学物質が含まれていることが多いため、たとえパッケージが同じに見えても、実際の中身を知る方法はありません。白色、オフホワイト、黄色、または茶色で、通常は小さなプラスチックやホイルのパッケージに入った粉末の形で販売されています。カプセルや錠剤の形、または小瓶に入った液体の形で販売されることもあります。使用者は、バス・ソルトを鼻から吸引したり、注射したり、食べ物や飲み物に混ぜたり、「ボミング」したり（タバコの巻紙に包んで飲み込む）、直腸から摂取したり、気化器を使って吸入したり、喫煙したりすると報告しています。

# バス・ソルトの通称

バス・ソルトの製造者は、できるだけ多くの顧客を引きつけるために、自分たちの製品に多くの名前を付けます。以下はそのような名前の例です。

- 北極爆発
- オーラ
- 殺到
- ブリス
- ブリザード
- ブルーム
- ブルー・シルク
- ボリビアン・バス
- クラウド9
- コットン・クラウド
- ドローン
- ダイナマイトまたはダイナマイト・プラス
- ユーフォリア
- グロウ・スティック
- ハリケーン・チャーリー
- アイボリー・スノー
- アイボリー・ウェーブまたはアイボリー・ウェーブ・ウルトラ
- ルナ・ウェーブ
- メキシィ
- マインド・チャージまたはマイノ・チャージ
- モンキー・ダスト
- ミスティーク
- ナチュラル・エナジー・パウダー
- オーシャン・スノー
- パープル・ウェーブ
- クイックシルバー
- リチャージ
- レッド・ドーン
- レッド・ドーブ
- ロックオン
- ロッキー・マウンテン・ハイ
- ルート69
- サンドマン・パーティー・パウダー
- スカーフェイス
- セクスタシー
- ショック・ウェーブ
- スノー・デイ
- スノー・レオパード
- スピード・フリーク・ミラクル
- スターダスト
- スーパー・コーク
- トランクイリティ
- アップ・エナジングまたはアップ・スーパーチャージ
- バニラ・スカイ
- ホワイト・バーン
- ホワイト・チャイナ
- ホワイト・ドーブ
- ホワイト・ライトニング
- ホワイト・ラッシュ
- ホワイト・サンド
- ウィックトゥX
- ズーム






# バス・ソルト：短期的な影響

**バス・ソルトを使用した後、暴力的、精神異常的、そして致命的なエピソードを体験したという多くの例があります。**

**マインドに与える影響：**

- 薬物への制御不能な渇望
- 不眠症
- 強い偽りの幸福感の後の被害妄想
- 悪夢
- 抑うつ
- ひどい動揺
- 幻覚や妄想
- 自傷
- 自殺衝動、自殺
- 精神異常
- 暴力的な振舞い

**身体への影響：**

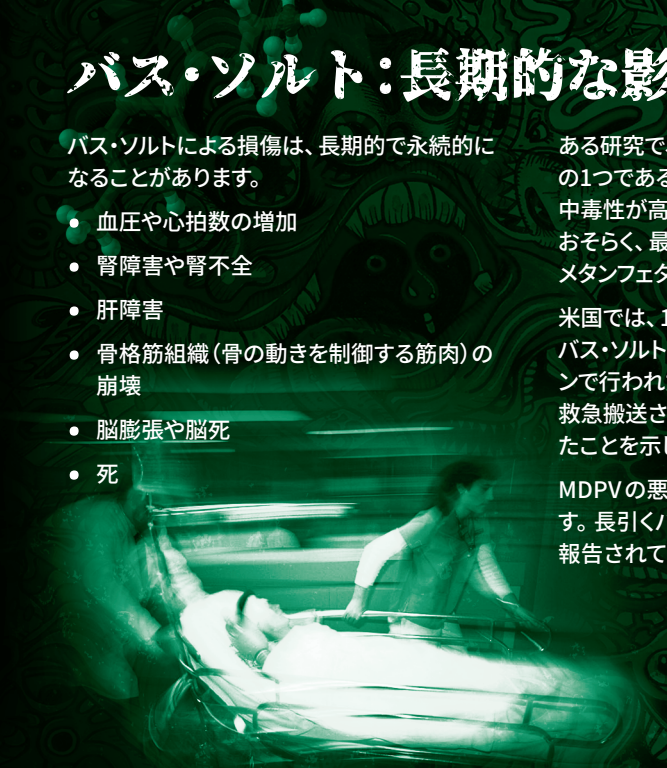
- 皮膚の発疹
- メフェドリンのにおい（バス・ソルトに使用されているメフェドリンという薬物のにおいがする）
- 蟻走感（ぎそうかん）（皮膚にむしずの走るような感覚）
- 過度の発汗
- 高熱
- 食欲減退
- 性機能不全
- 鼻血と鼻の灼熱感
- 筋肉のけいれん、緊張
- 無感覚、うずき
- 目まい
- 目のかすみ
- 目が不随意に速く動く
- 吐き気と嘔吐
- 胸の痛み、心臓発作
- 頭痛
- 発作
- 口の裏側の痛み
- 耳鳴り
- 異常な歯ぎしり
- 脳幹ヘルニア（頭蓋骨の中で圧力が増加し、死をもたらす可能性がある）



# バス・ソルト：長期的な影響

バス・ソルトによる損傷は、長期的で永続的になることがあります。

- 血圧や心拍数の増加
- 腎障害や腎不全
- 肝障害
- 骨格筋組織（骨の動きを制御する筋肉）の崩壊
- 脳膨張や脳死
- 死



ある研究で、バス・ソルトの主成分の1つであるMDPVは、非常に中毒性が高いことが分かりました。おそらく、最も中毒性の高い薬物の1つであるメタンフェタミンよりも中毒性が高いかもしれません。

米国では、1年の間に約23,000件の救急外来の受診がバス・ソルトに関連していました。米国のミッドウェスタンで行われた別の調査では、バス・ソルト使用によって救急搬送された16%以上の患者が、重体または死亡したことを示しました。

MDPVの悪影響は、使用後6～8時間続くことがあります。長引くパニック発作、精神病、死亡を引き起こすと報告されています。



## この製品は毒

「この製品は毒です。最初の1時間が過ぎると、コカインのような落ち込みを感じ始め、それはどんどん悪くなっていきました。胸の左側が締め付けられ始め、心臓がこれまでにないほど速く鼓動していました。偏執症が始まりました。私は病院での治療を受けようかとても迷いましたが、耐えました。少し良くなったり、少し悪くなったりを繰り返しましたが、最終的に3〜4時間後には、生きていてしらふでいることに感謝していました。人が死んだり、病院に行ったりするという報告は、デタラメではありません。これは、クズが最も邪悪な方法で金を稼ぐために作った危険な毒です。」—G.F.

## この薬物に絶対に手を出さないで

「私は10種類以上の薬物を使用したことがある薬物常用者でした。バス・ソルトは、クラックよりも危険です。これによる落ち込みは、自分の人生で最悪の経験でした。それは9時間も続いたのです。恐れ、心臓の動悸、極度の緊張、耐えがたい吐き気、そういったものが現れたり消えたりが1時間も繰り返されました。ひどかったです。ひどい経験だったので、もう絶対に薬物になんか手を出しません。私はまだ生きていられて幸運です。皆さんに警告できるのですから。この薬物に絶対に手を出さないで。」—E.W.

# バス・ソルト：簡略史

バス・ソルトとして知られている薬物は、1928年と1929年にフランスで初めて作られました。いくつかはもともと医療用に研究されましたが、その大部分は依存症などを含む深刻な副作用のため不成功に終わりました。これらの薬物の乱用は、1930年と1940年代から旧ソビエト連邦において始まり、抗うつ剤として使用されました。キャットやジェフとしても知られているこれらの薬物は、1990年代に米国で人気を得ました。

これらの薬物はイスラエルで2004年から、主要成分が違法になる2008年まで使用されていました。2007年までに、これらの薬物はインターネットの薬物フォーラムに登場し始め、薬物使用者の間でさらに人気を得ました。

2009年、オランダで「エクスタシー」の錠剤を分析したところ、半数以上がエクスタシーに関連する主要な薬物を含んでおらず、バス・ソルトに含まれる薬物を含んでいることが分かりました。

2012年、バス・ソルトに使われる2つの主要な薬物が、米国で違法になりました。しかし、地下組織の化学者は、化学式を少しだけ変えた新たな種類を製造し、バス・ソルトとして堂々と売り出したり、「ガラスクリーナー」や他の名前をつけてパッケージを変えたりしました。



# Nボムとは？

N-BOMeは、よく「Nボム」や「スマイル」と呼ばれる強力な合成幻覚剤で、LSDやメスカリン（サボテンから抽出される幻覚剤）に替わるものとして売られています。この薬物にはいくつかのバリエーションがありますが、25I-NBOMeは、しばしば25Iと呼ばれ、最も強力で、最も乱用されている形態です。これをほんの少し摂取しただけでも、その作用が12時間かそれ以上持続することがあります。

Nボムは、極微量の摂取でも、LSDと同じような幻覚作用を引き起こします。メタンフェタミンと類似した作用もあります。使用者は、Nボムの悪影響や後遺症はLSDよりもひどいと報告しています。

高い服用量の平均値と見なされる、一回分の摂取量750マイクログラムは、通常の食塩6粒分のサイズです。

Nボムは、液体や粉末の形、またはそれに浸したブロッター紙の形で販売されています。強い苦みのある金属の味がするので、ミントやフルーツの味を液体や吸い取り紙に加える売人もいます。

Nボムは飲み込んでも効果がないため、使用者は舌の下に置いて吸収させます。使用者の中には、注射したり、粉末状のものを吸ったり、鼻から吸い込んだり、蒸気にして吸入したり、直腸に挿入したりします。これらの方法は全て危険です。なぜなら、ほんの数粒でも作用し、過剰摂取が非常に簡単に起こるからです。時には致命的な結果を招くこともあります。

## 取り扱うには毒性が強すぎる

Nボムは非常に毒性が強いため、取り扱うにはフィルターマスク、手袋、保護メガネが必要です。これは、法執行官にとって危険です。彼らは、容疑者から薬物の証拠を集める際に防護服を着用しないと、致死量の過剰摂取を経験する可能性があります。

Nボムは、他の薬物の名前で売られることがあるため、使用者は自分が使用していると思っている薬物の通常の量を摂取し、致死量の過剰摂取につながる可能性があります。




禁止成分は含みません

購入するには18歳以上でなければなりません

食用ではありません



# Nボムの通称

- BOM-CI または Cimbi-5
- ダイム
- ノーム
- 合法アシッド
- Nボム
- ニュー・ネクサス
- スマイルズ
- ソラリス
- 25B
- 25C
- 25I

「心がズタズタになった気分になり、自分がやったり言ったりしたことの全てを疑い始めました。私はこの経験から、トラウマ後のストレスを抱えていたように思います。社会不安が増していき、見知らぬ人に話し掛けることができず、誰かを見るだけで、不安発作を感じます。25I-NBOMeは、遊び半分で使うような薬物ではありません。もう絶対にやりません。」—F.M.

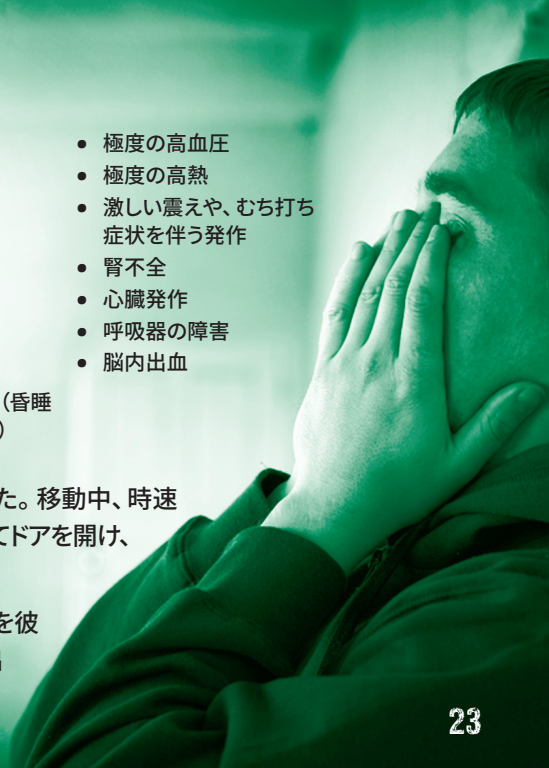
# Nボムの短期的な影響

**マインドに与える影響：**

- 幻覚と幻聴
- 混乱、方向感覚の喪失
- 混乱したコミュニケーション
- 攻撃性
- 偏執症、パニック
- 動揺
- 不眠症

**身体への影響：**

- 震え
- 吐き気や嘔吐
- 気絶、意識喪失
- 筋肉のけいれん
- 呼吸困難
- 白血球の増加
- 速脈
- 体内の酸のレベルの増加（昏睡や死に至る可能性がある）
- 極度の高血圧
- 極度の高熱
- 激しい震えや、むち打ち症状を伴う発作
- 腎不全
- 心臓発作
- 呼吸器の障害
- 脳内出血



「私たちは何とか友人を車に乗せることができました。移動中、時速96kmで走っている車から、彼はシートベルトを外してドアを開け、飛び降りようとしました。

彼の精神状態を確認するためその日に起きたことを彼に話させました。彼は、何が起きたのか何も思い出すことができなかったのです。」—T.S.

18歳のある男性は、初めて使用した時に発作を起こし入院しました。医者はその発作を止めることができず、この薬物のせいで4日間昏睡状態になりました。

別の18歳の男性は、25I-NBOMeとは知らずにそれを購入しました。彼はその一部を友人たちに売り、彼らは一緒にその薬物を摂取しました。目撃者の証言によると、そのうちのひとりは「震え、うめき、口から泡を吹いた」後、頭を地面に打ちつけたとのことです。最終的に彼は意識を失い、死んでしまいました。その薬物の若い購入者／売人は、殺人罪で起訴されました。

ミズーリ州セントルイスの21歳の男性も、似たような経験をしました。薬物を摂取した後、彼の手足は突然激しく震え始め、乗っていた車の付属品をもぎ取り始めました。彼はその後すぐに亡くなりました。

# Nボムの長期的な影響

一部の使用者に対して、Nボムは、永続的で重度の不安や、数ヵ月または数年続くようなうつ状態を引き起こすことがあります。ある色がずっと見えていたり、ひどく歪んだ映像であったり、色が光ったりといった幻覚として現れることもあります。

Nボムの使用により、腎不全や死に至るケースもあります。

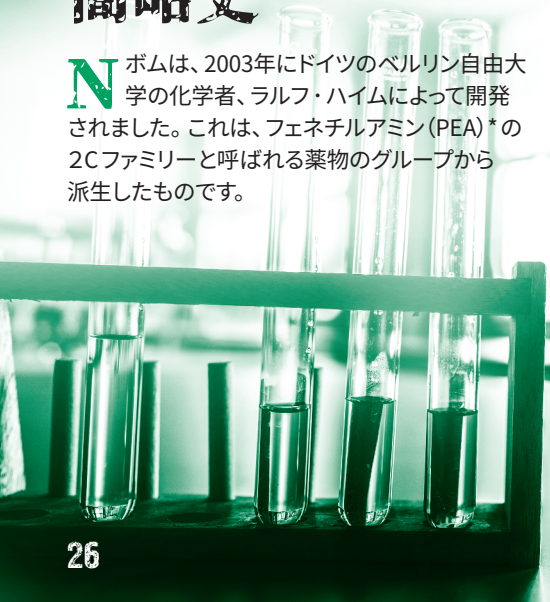


「病院で目が覚め、ベッドに手錠でつながれ、脇には警察官が座っていた。何が起きたのか全くわからなかった。どうやら私は床に横たわっていて、何にも反応しなかったらしい。血圧も脈拍も上がり、心臓発作を起こして、死ななかったことに皆驚いていた。看護士が私の血液を摂取しようとした際に、その看護士を殴ったので、拘束されたのだ。警察官も殴ってしまったようだ。3日間病院にいたが、その夜に死ななかったのは奇跡だと何人かの医者に告げられた。」—N.B.

「自分が誰なのか全くわからなかった。トラブルに遭っていることだけはわかった。これは何時間も続き…脈拍は1分間で140以上になり、体温は激しく変動した。私は自分の感情や考えをコントロールできなかった。分かっていたのは、恐怖におののいていたということだけだった。このような地獄の体験をしたことがなければ、わからないだろう。何とか生き延びられたが、誰もが生き延びられるわけではない。もう1ミリグラム多かったら、死んでいただろう。心臓発作や過呼吸で死んでいた可能性もあるし、生き延びられて本当にラッキーだ。この薬物はそんなリスクを負う価値はない。」—G.M.

# Nボムの簡略史

Nボムは、2003年にドイツのベルリン自由大学の化学者、ラルフ・ハイムによって開発されました。これは、フェネチルアミン（PEA）*の2Cファミリーと呼ばれる薬物のグループから派生したものです。



2C PEAは、1970年代にラットの脳の活動を研究していた科学者たちによって、研究室で最初に作られました。それは、LSDと似た幻覚や精神を変化させる体験を引き起こします。

2012年、Nボムの製造に使われる物質を含む9種類のPEA系薬物が、米国で違法とされました。

薬物の売人は、隠れた実験室でたくさんのNボムの種類をつくり出したり、中国やインドといった国々から大量に輸入したりしています。

製造者は、政府の禁止を回避するために製法を変えるので、使用者は自分が何を摂取しているのか、どれほど強力なのかを知ることができません。

Nボムによって引き起こされた害についての調査で、報告された42件の使用例のうち、9人の使用者が死亡したことが分かりました。

* フェネチルアミン（PEA）：さまざまな薬物の基盤となる基本的な化学構造。2Cは、この物質の特定の構成における2つの炭素原子を表しています。

# インターネット上で薬物の売人がよく使う誘い文句

インターネット上での虚偽の広告で売人によって最も良く使われる誘い文句は、これらの製品が「自然（ナチュラル）」で「合法」であるから「安全」であるということです。

売人は、スパイスやK2について、「一生できるトリップ」「素晴らしいハイの状態」などと告げ、薬物は「平凡な夜が、この上なく幸福で非凡な体験へと変わる」と説明します。

バス・ソルトを宣伝するウェブサイトは、「生まれたばかりの赤ちゃんのように感じる準備をしよう」「バス・ソルトは、長い夜を楽しむために必要なエネルギーを与えてくれる」といったマーケティング・スローガンを使っています。

Nボムもまた、安全で合法的なように見せかけて、ウェブサイト上で売り込まれています。公認の薬局や化学薬品卸売業者が、中国やインドなどの「信頼できる研究所」から薬物を仕入れていると主張するサイトもあります。

売人や宣伝者はこう言うでしょう。「本当に最高の気分になれる」「まるで別世界に行ったみたいになる」「とにかくすごい！」

これは口先だけの売り込みであり、これらの薬物が実際に持つ作用や結果の真実とは異なります。

危険ドラッグについての真実を知ってください。そうすれば自分自身で正しく判断できるはずです。

# 真実を知ってください：薬物

薬物は基本的に毒です。その作用は、摂取する量によって決まります。

少し摂取すると、活動をより活発にする中枢神経刺激剤として作用します。多めに摂取すると、活動を抑制する鎮静剤として作用します。さらに多量に摂取すると毒となり命を奪います。

これはどの薬物にも当てはまります。こうした作用を引き起こすのに必要な量が違うだけです。

それだけではなく、多くの薬物には人のマインドにも影響を及ぼす弊害があります。薬物を取っている人が自分の周囲で起こっていることを知覚しても、それは歪んだものになってしまう可能性があります。その結果、その人の行動は奇妙だったり、不合理であったりするかもしれません。暴力的になることもあるでしょう。

薬物は、全ての感覚を遮断します。望ましい感覚も望ましくない感覚もです。そのため、短期的には痛みを和らげるために役に立ちますが、同時に人の能力や機敏さを消し去り、思考を不明瞭にします。

医薬品は、身体の働きを良くしようとして、何かを速めたり、遅くしたり、身体の働きを変えることを意図した薬物です。時には必要ですが、薬物であることに変わりはありません。中枢神経刺激剤や鎮静剤といった薬物を取り過ぎれば命を落とすこともあります。したがって、医薬品は規定通りに使用されない場合、違法薬物と同様に危険なものになり得ます。



本当の解決策は、
事実を認識し、最初から
薬物など使用しないことです。

# なぜ人は薬物を取るのでしょう？

人が薬物を取る理由は、自分の人生を変えたいと思うからです。

若い世代の人たちが薬物を取る理由には、以下のものがあります。

- 周りとうまくやっていきたい。
- 問題から逃避、またはリラックスするため。
- 退屈を紛らわすため。
- 大人になったような気がするから。
- 反抗するため。
- どんなものか試してみたい。

こういった若者は、薬物が問題を解決してくれると思っているのです。しかし、結局のところ薬物は問題にしかなりません。

自分の問題に直面することが困難なこともあるでしょう。しかし、薬物によって解決しようとしている問題よりも、薬物を使用した方が常に悪い結果を招きます。本当の解決策は、事実を認識し、最初から薬物など使用しないことです。



**この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズは、これまでに20以上の言語で出版され、世界中で何百万部も配布されてきました。**




新しい薬物が次々と世の中に出回っており、その影響に関する新たな情報が知られるようになっています。本シリーズはそうした新しい情報を盛り込んだ最新版です。

これらの小冊子シリーズは、カリフォルニア州ロサンゼルスを拠点とする非営利の公益法人「薬物のない世界のための財団」によって出版されています。

財団は、その国際防止ネットワークを通して各種教育資料や助言を提供したり、調整を行ったりしています。また、青少年や保護者、教育者やボランティア団体、政府機関ばかりではなく、薬物乱用のない人生を送ることに関心のある人なら誰とでも協力しています。

**参照文献：**

この小冊子をまとめるのに使われた参照文献：jp.DrugFreeWorld.org/refs

# 知っておくべき真実

この小冊子を含む薬物防止教育小冊子のシリーズには、マリファナ、アルコール乱用、フェンタニル、危険ドラッグ、エクスタシー、コカイン、クラック・コカイン、覚せい剤、有機溶剤 / 吸入ガス、ヘロイン、LSD、処方薬乱用についての正確な情報がまとめられており、読者が自分の意志で薬物のない人生を送ることができるように役立つ内容になっています。

**無料オンライン・コースを行う、または地域の薬物のない世界支部とつながるには、jp.DrugFreeWorld.org にアクセスしてください**


**薬物のない世界のための財団**

jp.DrugFreeWorld.org • info@drugfreeworld.org

1 (888) 668-6378 • 1 (818) 952-5260


**この小冊子をダウンロードするには ここをスキャン**


© 2025年 Foundation for a Drug-Free World. 不許複製。Truth About Drugsおよび薬物のない世界のための財団のロゴは Foundation for a Drug-Free Worldが所有しており、使用にあたってはその許可が必要です。#S001562 - Japanese